

平成20年1月31日

各 位

会 社 名	セガサミーホールディングス株式会社
代 表 者 名	代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 里 見 治
	(コード番号 6460 東証第一部)
問 合 せ 先	執 行 役 員 秋 庭 孝 俊
	(電話番号 03-6215-9955)

当社子会社（株式会社セガトイズ）の
平成20年3月期通期（連結・個別）業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社の子会社である株式会社セガトイズは、平成19年10月31日に公表した平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の通期（連結・個別）業績予想および配当予想について、別添のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社の平成20年3月期通期連結業績への影響につきましては現在精査中であり、業績予想に変更が生じた場合は速やかに開示いたします。

《添付資料：セガトイズ開示資料

「平成20年3月期通期（連結・個別）業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」》

以上



平成 20 年 1 月 31 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 セ ガ ト イ ズ
代 表 者 名 代表取締役社長 國 分 功
(JASDAQ コード番号 7 8 4 2)
問 合 せ 先 取締役 財務経理部長 山重 佳治
電 話 番 号 (0 3) 5 8 2 2 - 6 2 4 4

**平成 20 年 3 月期通期（連結・個別）業績予想の修正及び
配当予想の修正に関するお知らせ**

平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の通期の業績予想について、平成 19 年 10 月 31 日に公表いたしました当社「平成 20 年 3 月期 中間決算短信」および「平成 20 年 3 月期 通期業績予想の修正（連結・個別）に関するお知らせ」において発表いたしました数値を下記のとおり修正いたします。

また、平成 20 年 3 月期の期末配当予想について、平成 19 年 4 月 27 日に公表いたしました当社「平成 19 年 3 月期 決算短信」および平成 19 年 10 月 31 日に公表いたしました当社「平成 20 年 3 月期 中間決算短信」における発表内容を下記のとおり修正いたします。

記

I 通期（連結・個別）業績予想の修正

1. 平成 20 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（1）連結業績予想

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	17,500	302	300	116
今回修正予想（B）	16,500	△696	△700	△754
増 減 額（B－A）	△1,000	△998	△1,000	△870
増 減 率	△5.7%	－	－	－
（ご参考）前 期 実 績 （平成 19 年 3 月通期）	15,206	333	284	114

（2）修正理由

売上高につきましては、最大商戦期である年末年始商戦において積極的に新製品を投入し販売促進活動を展開しましたが、国内販売において知育玩具製品および男児キャラクター製品の販売が伸びず前回予想を大きく下回る見込みとなりました。また、これら一般玩具の落ち込みをカバーすべく当社が積極的に市場開拓を推進している「グランドピアノリスト」などの大人向け高額製品についても売上成長を大きく掲げておりましたが、計画を達成できない見込みとなりました。その結果、国内売上は前回予想比 1,935 百万円減少し 10,507 百万円となる見込みです。反面、海外売上については、「i d o g シリーズ」、

「爆丸」がそれぞれ計画を大きく上回り好調に推移し、前回予想比 934 百万円増加し 5,992 百万円となる見込みです。これらの結果、通期の連結売上高は前回予想比 1,000 百万円減少し 16,500 百万円となる見込みです。

通期の利益面につきましては、利益率の高い国内売上が大幅な計画未達となり粗利益が減少しました。これに加えて、販売不振に伴うキャラクター玩具などの在庫処分を今回集中的に実施したため、営業損失 696 百万円(前回予想比 998 百万円の減少)、経常損失 700 百万円(前回予想比 1,000 百万円の減少)、当期純損失 754 百万円(前回予想比 870 百万円の減少)となる見込みです。

2. 平成 20 年 3 月期通期個別業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 個別業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	15,000	193	200	96
今回修正予想(B)	13,800	△733	△730	△763
増減額(B-A)	△1,200	△926	△930	△859
増減率	△8%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 19 年 3 月通期)	15,143	356	306	121

(2) 修正理由

売上高につきましては、最大商戦期である年末年始商戦において積極的に新製品を投入し販売促進活動を展開しましたが、国内販売において知育玩具製品および男児キャラクター製品の販売が伸びず前回予想を大きく下回る見込みとなりました。また、これら一般玩具の落ち込みをカバーすべく当社が積極的に市場開拓を推進している「グランドピアノスト」などの大人向け高額製品についても売上成長を大きく掲げておりましたが、計画を達成できない見込みとなりました。その結果、国内売上は前回予想比 2,216 百万円減少し 8,362 百万円となる見込みです。反面、海外売上については、「i d o g シリーズ」、「爆丸」がそれぞれ計画を大きく上回り好調に推移し、前回予想比 1,016 百万円増加し 5,437 百万円となる見込みです。これらの結果、通期の個別売上高は前回予想比 1,200 百万円減少し 13,800 百万円となる見込みです。

通期の利益面につきましては、利益率の高い国内売上が大幅な計画未達となり粗利益が減少しました。これに加えて、販売不振に伴うキャラクター玩具などの在庫処分を今回集中的に実施したため、営業損失 733 百万円(前回予想比 926 百万円の減少)、経常損失 730 百万円(前回予想比 930 百万円の減少)、当期純損失 763 百万円(前回予想比 859 百万円の減少)となる見込みです。

Ⅱ 平成 20 年 3 月期の期末配当予想の修正

1. 期末配当予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	中間期	期 末	年 間
前回発表予想（A） （平成 19 年 4 月 27 日発表）	—	5 円	5 円
今回修正予想（B）	—	0 円	0 円
（ご参考）前期実績 （平成 19 年 3 月期）	—	5 円	5 円

2. 修正理由

本日ここに発表しております平成 20 年 3 月期通期連結業績予想、および平成 20 年 3 月期通期個別業績予想の修正のとおり、当期純利益を 116 百万円から△754 百万円に修正いたしました。この結果、当社の財務状況を勘案し、期末配当につきましては誠に遺憾ながら見送りとさせていただきます。存じます。

今後は、安定配当のできる経営体質の早期確立に向け全社一丸となって取組む所存でございます。株主の皆様におかれましては、ご理解、ご了承のほど宜しくお願い申し上げます。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上